



1. 調査概要

■調査目的: 芸術分野特有の運動特性・活動特性をふまえたヘルスキアの普及をめざし、芸術活動による健康面等の実態とニーズを把握するため、プロの芸術家を対象としたアンケートとグループインタビューによる調査を実施しました。本調査結果が広く共有されることで、ヘルスキアの面から個々の芸術家のパフォーマンス向上、ひいては芸術のより一層の振興に役立つことを目的としています。

アンケート調査

*調査対象

●バレエ

東京バレエ協議会加盟団体、過去3年間に芸術文化振興基金「トップレベルの舞台芸術創造事業」対象となったバレエ団、公演実績の多い2バレエ団に打診し、承諾を得た16のバレエ団団員および団員に準ずる属員

●演劇

公益社団法人日本劇団協議会加盟の61劇団のうち、所属俳優の人数が9名以上の劇団で、本調査への協力を承諾した36劇団の俳優

●オーケストラ

公益社団法人日本オーケストラ連盟加盟の正会員のうち、調査実施可能な23団体の楽団員

●伝統芸能

公益社団法人能楽協会傘下の各支部や団体等11団体傘下の能楽師

*調査方法

各団の事務局から団員等へ調査票を配布(各団事務局より指定された所属人数分または協力可能人数分)、郵送による個別回収 または各団体でとりまとめ回収

*調査期間

調査票配布・回収は、2012年4-6月

*配布・回収数 [計86団体配布、有効回答数494]

バレエ	508 部配布、有効回答数	140 (有効回収率 27.6%)
演劇	1,150 部配布、有効回答数	208 (有効回収率 18.1%)
オーケストラ	995 部配布、有効回答数	112 (有効回収率 11.3%)
伝統芸能	323 部配布、有効回答数	34 (有効回収率 10.5%)

グループインタビュー

*調査対象

各分野のアンケート調査回答者のうち希望者および本調査協力団体による紹介者計19名

*調査期間

2012年9月6日～18日 (計5回)

報告書

■報告書構成

- I. バレエ編
- II. 演劇編
- III. オーケストラ編
- IV. 伝統芸能編

■各報告書共通 目次

1. 調査の概要
2. 調査結果
 - (1) プロフィール
 - (2) 芸術活動による怪我・故障/身体の不調
 - i) 怪我・故障(治療経験のあるもの)
 - ii) 怪我・故障の治療とリハビリ
 - iii) 身体の不調(治療経験のないもの)
 - (3) コンディショニング・トレーニング
 - (4) 日常生活と健康状態
 - (5) 食事について
3. 調査のまとめ
4. 資料編
 - (1) グループインタビュー
 - (2) 調査票